NEWS RELEASE



2014年12月25日

今冬期の成田空港における大雪対策について

~平成26年2月の大雪経験を踏まえ、空港運用への影響を最小限に留めます~

本年 2 月、長時間にわたる断続的な降雪により、成田空港へのアクセスが全面的に停止し、約 8,000 人のお客様が滞留されるなど、空港の運用に大きな影響を与えました。弊社では、当該対応における 新たな課題を整理して、関係機関と協議を重ね準備して参りました。お客様に安心してご利用いただけ るよう、大雪対策を整えています。

1. お客様への対応

(1)情報提供

大雪時には、成田空港ホームページのトップ画面に「緊急ボックス」を設け、アクセス各社リンク先ー覧を表示致します。また、空港内においては、関係機関と連携したうえで、館内放送をはじめデジタルサイネージによりタイムリーに情報を提供できるように致します。

(2)非常用物資配布体制

滞留されたお客様へ非常用物資がより効率的に行き亘るように、従来からの約 15,000 人分の非常 用物資の配備に加え、配布訓練を実施(本年3月及び9月)し、物資配布の事前案内の徹底や配布方 法を巡回から定点配布へ変更する等、非常用物資配布方法の改善を図りました。

《非常用物資》

水: 30,000 本、 軽食: 30,000 個

寝袋: 25,000 枚、エアマット: 15,000 枚

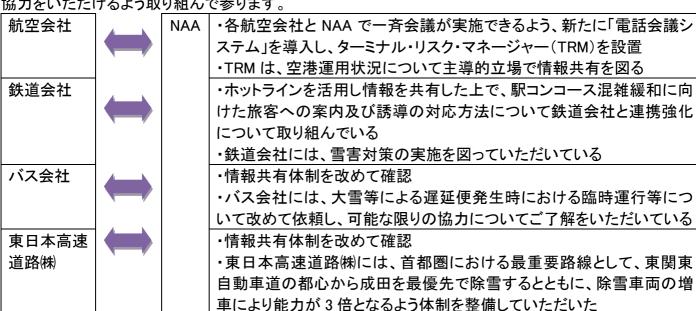
アルミブランケット: 15,000 枚

※売店や飲食店舗の営業時間の延長及び自動販売機については、品切れにならないよう補充巡回を強化



2. 関係機関との情報共有体制

お客様への情報提供を確実に実施するため、関係機関との情報共有体制を新たに構築したほか、 関係機関において除雪機能の向上等の対策を実施していたただいているところであり、可能な限りの 協力をいただけるよう取り組んで参ります。



3. 滑走路の除雪体制

成田空港では、除雪車両を以下のとおり配備しており、除雪作業に備えております。

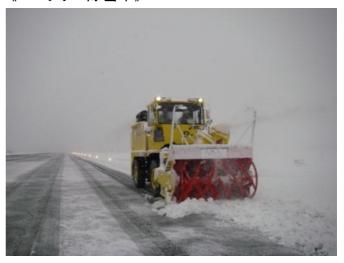
《除雪車両》

スノースイーパー(自走式・牽引式): 7台、スノープラウ:14台、ロータリー除雪車: 4台 凍結防止剤散布機: 2台、小型プラウ(航空会社等貸与、スポット内除雪用): 38台

《スノープラウ》



《ロータリー除雪車》



《スノースイーパー》



《除雪車両編成(滑走路)》

